

新宿区とアイキューソフィア株式会社の 駐輪シェアサービスに関する協定について 吉住区長と中野代表取締役社長がコメントを発表

令和4年12月22日

現在、公有地を中心に駐輪場の整備を行っていますが、近所への買い物や通勤、通学などでも自転車の利用が増加し、ご家庭で使用されている自転車が大型化してきている中、公有地における整備だけでは駐輪スペースの確保が難しい状況になっています。

そこで、民間施設の敷地を駐輪場として活用し、1台あたりの広さを確保することもできる“みんちゅう”のノウハウを活用したいと考え、アプローチさせていただき、協定締結に至りました。

駐輪場のニーズの高い駅周辺の地域において、積極的に活用可能な民間の土地を駐輪場として発掘してもらえればと考えています。

新宿区長 吉住健一

多くのビジネスマンや学生、主婦が行き交う新宿区でみんちゅうを推進できることをとても嬉しく感じています。

区と連携しながら「小規模分散型」の駐輪場を開設し、ユーザーとしてもオーナーとしても利用していただき、地域に根付いていけるよう頑張っていきたいと考えています。

民地と公用地のわずかなデッドスペースを活用して利便性の高い駐輪場の確保に努めてまいります。

アイキューソフィア株式会社 中野里美